

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成28年12月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は4から6に増加。「減少した」業種は7から6に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は7から14に増加。「減少した」業種は12から9に減少。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は2から4に増加。「悪化した」業種は10のまま変化なし。

前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は2から4に増加。「減少した」業種は12から8に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から9に増加。「減少した」業種は14から12に減少。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は6から2に減少。「悪化した」業種は15から16に増加。

製造業

■ しょう油製造

例年通り盛況であった。

【県内全域】

■ 漬物製造

円安傾向にあり、輸入原料の値上がりが必要である。

【県内全域】

■ 豆腐製造

年末の個人消費が年々下がっている。

【県内全域】

■ 酒類製造

酒造りのシーズンに入り、売上は前月比・前年比とも増加。低価格帯が比較的高い。吟醸系のお酒は引き続き好調な伸びを示している。

【県内全域】

■ 製材

為替の関係で外材に変化が見られる。年明けから外材の値上げが見受けられる。

【県内全域】

■ 製材

12月ロシア材船1隻入港。他の入港はなし。在庫は減少傾向。

【木更津】

■ 印刷

1. 県内の業界は低迷が続いている。

【県内全域】

2. 紙の出荷量が減ったにも関わらず価格は据え置き。

3. 通販印刷のCMが増えた。

鉄工

【千葉】

当月を含め、年間を通してはつきりとした横ばい状態での推移が続く結果となりました。厳しい状況が長期間継続される中で、ここ数年組合員各社にリタイアもななく推移していることは、各社の技術力に裏打ちされたものでもあり大いに評価したい。

■ 機械部品製造

一部の業界(スマホ・コンピューター関係)では先行して受注増。他は前月と余り変わらない。

【野田】

■ 機械部品製造

年末に向けて忙しさはあるが、景気向上は感じられない。

【流山】

■ 金属製品製造

景況感に大きな変化は感じられない。

【船橋】

■ 採石

【県内全域】

豊洲の市場盛土の計画が突然うやむやになり期待が崩れ、東京港湾関係の事業もストップの状態です。我々の業界にとって痛手は大きい。横浜港管内での事業も想定されるが、今度の件は多方面に悪影響を及ぼすのではないかと危惧している。平成29年度は東京港及び横浜港の港湾関係の明るい見通しも見えてきて石材の需要がある

ものと期待している。

■土砂採取

【県内全域】

それほど大きな落ち込みもなく、前年同月の出荷が増えたところもあるが、市場的には引き続き停滞しており新年度以降の出荷増に期待したい。

非製造業

■総合卸売

【千葉県・東京都】

組合員の取扱商品によりばらつきがあるものの、例年に比べ年末年始の休業が0.5～1日増えている。円安影響から輸送コストが若干上昇している。

■食肉卸売

【千葉市他】

前月同様厳しい状況が続いています。酪農家の減少や豚の病気の再発等によりと畜頭数の減少が続いており、財務状況が悪化している。

■建築材料卸売

【県内全域】

千葉県内需要は、今後も当分回復は期待できない。業界の動きについて、業容縮小・合併・模索が続く。組合の事業活動等について、赤字必至。

■自動車解体

【県内全域】

スクラップ価格12月中に5%アップ。円安傾向もあり、輸出分

野にはプラスに作用。短期の景況ではなく、長期的なトレンドとして生き残る会社と残れない会社の差がある。

■乾物卸売

【県内全域】

景況は相変わらず低調。業界動向は、全国的な品不足により、入札価格は上昇基調にある。特に干葉は、2年続きの不作と共販の遅れで一番の需要期に商材がない状態だった。

■卸売

【茂原】

相変わらず景気はパッとしません。消費の落ち込みも見られます。寒さも加わって本当にパッとしません。

■電気機器小売

【県内全域】

景況の変化について、例年の年末のように厳しさは変わらない。量販も厳しいと聞きます。組合も年末は、例年通り事業は持たないようになっている。

■青果小売

【千葉市】

入荷はやや増えたが、収益を見ると前月同様売り上げの割には利益を確保できなかった。

■中古車仕入・販売

【県内全域】

大きな目玉となる新車発売の効果がなく、市場に流通する中古車台数は横ばい。

■小売

【東金】

ファッション関連品は、寒くなり若干動き始めた感がある。日用品関連は良いところと悪いところの差が出ている。食品関係は、野菜類が高値の為、相対的に減少傾向が続いている。飲食関係は、外食機会が減ってきている傾向が続いている。

■小売

【野田】

元日からの営業がすっかり定着したが、反面、買いだめの習慣が無くなり、年末商戦が盛り上がり欠けてきた。

■小売

【県内全域】

野菜高騰のため、売上高は増加したが、相変わらず景気は悪くなる一方である。

■小売・サービス

【柏】

大型ショッピングセンターの開業のジャブがじわじわと効いてきた。12月にしては来街者数が極端に減ってきたような感じが否めない。押し詰まっただけの食品系スーパーも直近に開店が相次いだため何となく活気が無い。業界の動きについて、業界全体が衣料品不況真っ只中昨年並みという業者も聞かない。

■建設揚重

【県内全域】

前月と同様で、特に変わらない。年明けからの上昇を期待したい。

■遊覧船

【鴨川】

12月は、天候不良の日が多く、欠航が5日間と前年同月より2日間多くなった。また、観光客の入込数も例年に比べ減少傾向にあった。

■一般廃棄物処理

【千葉】

若者の車離れや肉体労働が嫌煙されている現状は前からありましたが、新しく入った従業員が定着しやすい業界づくりをしていきたいと考えます。

■土木建築サービス

【県内全域】

これからの測量業界に必須となる「三次元計測事業」(国交省の提唱するi-construction)に対する調査・研究(具体的な業務としてどんなことが可能か)に取り組む。

■輸出入

【県内全域】

景況の変化について、12月の売上は前月比、前年同月比は不変で横ばいであった。